

「第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会」北海道代表決定戦
開催にあたり無観客試合とすることについて

北海道バレーボール協会
会長 生島典明

新型コロナウイルス感染症の拡大が続き、非常に厳しい環境の中、「第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会」が、来年1月の東京体育館での開催に向け準備が進んでおり、その出場権を目指す男女68チームを迎えて、「北海きたえーる」において北海道代表決定戦を開催することといたしました。

コロナ禍において、本大会の運営にあたっては、新たな感染者を出さないための、万全なコロナ対策をとらなければならないことはもとより、リスクを最小化することが求められ、大会を構成する全ての方たちの安全を重視し実施するため、

- 1、参加チームを例年の88チームから、68チームに抑制
- 2、大会役員を競技運営のための最小限の人数に抑制
- 3、入場時刻の設定、控え席及び会場内移動経路の固定明確化
- 4、大会登録メンバー以外の部員には同様コロナ対策での参加を認める
- 5、完全無観客で実施される全国大会と同様に無観客とすることとしました。

一方、「保護者（家族）の大会観戦に対する要望書」の提出を受け、観戦の可能性について改めて慎重に検討を重ねましたが、

- 1、大会参加チームを抑制したとはいえ、68チーム約1,600人という多数のチーム、人員が全道から参集すること
 - 2、観客席のあるメインアリーナだけでなく、観客席のないサブアリーナも2コート使用しての開催となり、選手と観客の分離が不可能であること
 - 3、新規感染者数が札幌市を中心にこれまで以上に増加拡大していること
- を考慮し、大会を構成する全ての方たちの安全を重視し実施するため、これまで選手達を支えられてきた保護者の皆様のご期待にお応えすることができず、誠に心苦しい限りではありますが、無観客での大会実施とします。

選手の皆さんをはじめ、関係するあらゆる皆様のご理解とご協力をお願いいたします。